

授業科目名	ダイバーシティと教育・保育			教員名	宇田川 和久 / 橋本 淳一 室井 佑美		
配当年次	1・2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格選択必修					ナンバリング	3D428
授業内容を示すキーワード	ダイバーシティ 教育 保育 共生社会 文化 尊重 インクルーシブ						
授業の概要	ダイバーシティ(多様性)とは、人間の中にみられる身体的、文化的など様々な差異のことです。例えば、人種、民族、性別、年齢、障がいの有無、社会経済的ステータス、性的指向、宗教、階級、政治的信条などの面があります。これら差異が社会生活の中でどのような背景を持ち、どのような実態であるのかを学び、違いを受入れ、互いの個性を認め活かしあおうとする考え方や姿勢を養います。また、ダイバーシティを推し進めるための仕組みの具体例や教育・保育・福祉の現場での実践を通して理解します。その上で、私たちが「互いの個性を尊重する」「他者と共に豊かに生きる」ことを、自分の課題として深く考え、共生社会マインドを養います。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】</p> <p>ダイバーシティに対する理念、意義を理解し、それらが形成されるに至った背景を学びます。現代社会の特徴である、規範の複雑化、価値観の多様化に対して、自らが求められる「他者の価値を認めながらも、自分の価値も同時に持ち、共生していくこと」を、専門的な知識を獲得した上で、共生社会に向けたアクションを思考し、判断し、応用する力を習得します。偏った見方に陥らず、多角的な視点を持って自ら思考し、受容していく力を養うため、自分と他者の意見を理解し、尊重し合いながら仕組みを考えるための態度を身につけます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)ダイバーシティの実態や社会的背景を具体的かつ詳細に概説できる。 (2)多角的な視点で、ダイバーシティの目的と必要性を述べられる。 (3)ダイバーシティを推し進めるための仕組みについて具体的かつ詳細に概説できる。 (4)自分の意見に根拠や理由を示しつつ、意見を形成して的確に説明できる。</p>						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を3名の教員がオムニバス形式で授業を行います。ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行うことがあります。学外授業としてフィールドワークを行う可能性もあります。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レポート〕45% ■授業への取り組み・態度 55%						
DPに掲げる学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% 〔合計100%〕						
教科書	適宜、資料を配付します。						
参考書	「未来の授業SDGsダイバーシティBOOK」(ISBN:978-4883355334)/佐藤真久(監修)/宣伝会議						
関連科目	SDGsと教育・保育 日本国憲法 生命倫理 インクルーシブ教育・保育 I / II 子ども家庭福祉						
質問受付の方法	適宜、授業内および担当教員の研究室等に対応します。						
履修上の注意	各回配付するプリントの管理と整理は、A4ファイルに学習ノートとして自己責任で行ってください。普段から授業内容に関連するテレビ、新聞、インターネット等の情報になるべく多く接するよう心がけてください。フィールドワーク等を行う場合、平日授業内ではないことがあるため、スケジュールをよく確認してください。その際の諸経費は自己負担となりますが、授業内で詳細を説明します。						

授 業 計 画 と 時 間 外 学 習	1	オリエンテーション ダイバーシティの理念、意義、歴史的背景[担当:室井] 海外にルーツを持つ乳幼児・保護者と多文化共生①(現状と日常生活の実際) 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉テキスト第1章を読み、ダイバーシティの概念をまとめる。指定された動画を視聴しておく。90分
	2	海外にルーツを持つ乳幼児・保護者と多文化共生②(子育て事情の実際と保育現場)[担当:室井] 〈予習〉海外にルーツを持つ子育て家庭が日常生活・子育てで戸惑う事、分からない事を考える。45分 〈復習〉海外にルーツを持つ子育て家庭が保育現場で戸惑う事、分からない事を考える。45分
	3	保育現場での多文化共生①(保育内容の活動を考えよう)[担当:室井] 〈予習〉多文化共生に対して興味・関心を持てるような活動内容を考えておく。45分 〈復習〉グループメンバーで多文化共生にまつわる保育活動の準備をする。45分
	4	保育現場での多文化共生②(保育活動を実践して共有しよう)[担当:室井] 〈予習〉授業内メンバーと保育活動を共有できるように実践の展開を考える。60分 〈復習〉多文化共生にまつわる保育活動を全体で共有し、振り返りながら理解したことをまとめる。30分
	5	Z世代研究～チル&ミーの謎～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	6	家族、結婚、離婚～所得階層によって異なるライフスタイル～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	7	ジェンダー、エスニシティの問題～アイデンティティとの出会い～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	8	逸脱と正常の間～誰が幸福か～[担当:橋本] 〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティとの関連を考える。45分
	9	障害のある学生の現状と社会的障壁①[担当:宇田川] 〈予習〉障害のある学生に対する大学の対応(入試及び講義等)について文献調査を行う。45分 〈復習〉調査した情報をもとにどのような対応をしているのか、大学教育における現状を学び振り返る。45分
	10	障害のある学生の現状と社会的障壁②[担当:宇田川] 〈予習〉授業で取り上げたいいくつかの大学の実践例について調べてくる。45分 〈復習〉障害者権利条約や、学生の学びを支える合理的配慮の内容について整理する。45分
	11	企業や社会におけるD&Iの取組①[担当:宇田川] 〈予習〉企業等における障害者がどのような働き方をしているかについて、情報収集する。45分 〈復習〉障害者の雇用に関する企業等の取り組みについて整理する。障害者雇用に関する法律を整理する。45分
	12	企業や社会におけるD&Iの取組②報告会[担当:宇田川] 〈予習〉企業における具体的な働き方について調べ、報告会に向けた準備を行う。45分 〈復習〉共生社会を目指した我々の果たすべき役割について整理する。30分
定期試験	◆定期試験[レポート] ◆振り返り・フィードバック[添削して後日返却する]	